

医療法人田中会 武蔵ヶ丘病院 広報誌「むさし」

MUSASHI

MUSASHI

vol.11

2024.1

本誌は無料です。ご自由にお持ち帰りください。

制作 / 武蔵ヶ丘病院 広報



2024.1
vol.11

Model : (上) 平島 聖子 (総合診療科 医師)、(下) 宮村 加奈子 (麻酔科 医師)

TAKE FREE



医療法人 田中会

武蔵ヶ丘病院

〒861-8003 熊本市北区楠 7丁目15-1
Tel.096-339-1161(代表) Fax.096-339-4717(代表)

武蔵ヶ丘病院 検索



外来予約専用ダイヤル ☎ 096-339-1155

- ご予約は受診希望日の前日までに、ご連絡をお願いいたします。
- ご予約は定期受診の方が対象です。初診の方のご予約はお受けいたしかねます。(予約制の診療科は除く)

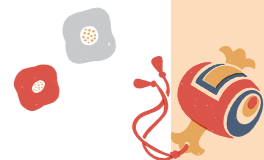
新年のご挨拶



新年 謹賀

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
2024年も地域医療に貢献し、皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りたいと思います。
本年もどうぞ武蔵ヶ丘病院をよろしくお願ひ申し上げます。

医療法人 田中会
武蔵ヶ丘病院



皆さま、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類へ分類変更され、約4年続いたコロナ対応が大きく変化した年でございました。しかし、分類変更がなされたとしても、決してコロナウイルス自体が弱まったわけではありませんし、高齢の方にとっては、未だ注意が必要なウイルスなのは変わりありません。当院においては、引き続き発熱外来で新型コロナウイルス感染症やインフルエンザを中心とした発熱等症状のある方の治療を継続してまいります。

また、今年は1月1日に石川県能登半島を中心とした大地震が発生いたしました。今回の地震で被災に遭われた皆様に、心からお見舞い申し上げます。熊本地震を経験した私たちにとって他人事ならぬ気持ちで報道を確認するばかりです。熊本地震では当院も被災しましたが、病院機能に大きな支障はなかったことから、職員一丸となって入院患者さまの治療、そして外来診療を継続したことを思い出します。

当院は、高度急性期病院ではございませんが、熊本市北区楠地区を中心とした地域にとって何か有事があれば地域の皆様に頼られる病院でありたいと思っております。被災した経験のある病院として更なる必要な設備の充実、診療継続体制の構築を今まで以上に考え、実行してまいります。

本年も当院が掲げる3本柱（●救急医療・●在宅医療・●リハビリテーション）を中心に、最善を尽くし、診療に従事してまいります。また、コロナ禍前に実施しておりました健康教室も昨年11月から再開し、多くの地域住民の皆様にご参加いただいております。このような地域の皆様とのつながりを更に深める取組も実施してまいります。何かお困りのことがございましたらいつでもお気軽にご相談ください。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

武蔵ヶ丘病院 院長
水流添周

2023年の出来事

地域医療連携の会



コロナ渦で開催できなかった当院の地域医療連携の会を令和5年11月16日（木）に4年ぶりに開催いたしました。日頃より当院と連携のある地域の医療機関、介護施設、介護サービス事業所等の皆様方に多数のご出席を賜りました。本会是一部、二部制となり、一部は連携講演会、二部は連携懇談会として開催させていただきました。

第一回院内学術フォーラム



令和5年7月6日に、武蔵ヶ丘病院4階大ホールにて第一回武蔵ヶ丘病院学術フォーラムが行われました。リハビリ、薬剤、看護、栄養と多岐にわたる部門からご発表いただきましたが、どれも素晴らしい演題で、特に質疑応答では部門の垣根を超えた議論がなされ、素晴らしい会となりました。次回は令和6年7月に開催予定です。

健康イベント再開



令和5年10月25日（水）より、カロリーカフェ内にてコロナ以前に開催していた健康イベントを再開しました。参加費は無料。脳フィット（基本的な脳と身体健康増進プログラム）骨粗鬆症についての講義、栄養指導、骨粗しょう症認定医によるよろず相談、骨密度測定等を行いました。今後も健康に関するイベントを主催し、皆さんの健康への道をサポート致しますので、皆様の参加をお待ちしております。

新型コロナ5類移行



感染症の分類が2類から5類に引き下げられましたが、風邪症状のある方は、今まで通り発熱外来での対応を続けております。～検査費用などについて～
新型コロナウイルス感染症は2023年5月8日から、感染症分類が2類から季節性インフルエンザ同等の5類に移行しました。そのため、検査に係る公費負担が廃止され、検査をする場合には費用がかかります。あらかじめご了承ください。

3 各病棟に病棟クラークを配置しました。

昨年10月より各病棟（一般、包括、回復期）に病棟クラークを一人ずつ配置しております。面会、入院荷物の受け渡し等におかれましては各病棟のクラークへお気軽にお申し付けください。

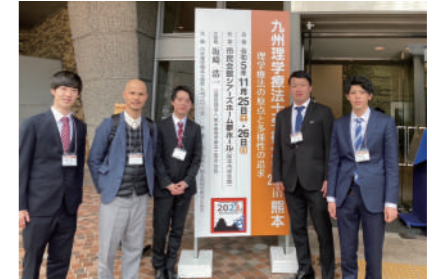
病棟クラークとは？

病棟クラークは、ナースステーションに常駐して電話や患者さまの対応、入院の手続きやカルテ管理など、多岐にわたる業務を担当して、病院全体の業務効率化を図り、医師や看護師など医療関係者のサポートをする作業がメインになります。病棟クラークがいることで、病棟にいる患者さまは快適になり、職員はスムーズに業務ができます。



1 竹松理学療法士 九州理学療法士学会 新人賞を受賞

昨年11月、リハビリテーション部の竹松理学療法士が日本理学療法士協会が主催する九州理学療法士学会に野中PT、山下PT、松尾PT、小嶺PTと出場し一般演題188演題の中から見事新人賞に選出されました。新人賞受賞演題「Berg Balance Scaleにおける歩行自立度の判定基準と実際の歩行能力に乖離を認めた脳卒中後症例に対する介入経験：バランスのシステム理論に着目して」



竹松理学療法士よりコメント

今回、九州理学療法士学会において新人賞をいただきました。抄録の作成にあたって細川先生・千手先生をはじめとし、藤井課長・野中さんその他多くの方々からのご指導の元このような賞を受賞することができ非常に嬉しく思います。今後も日々の業務・研究ともに頑張りたいと思います。



4 表紙モデル紹介

今回は表紙のモデルとして、武蔵ヶ丘病院に勤務している女性医師の宮村医師（麻酔科）平島医師（総合診療科・健診）をお願いを致しました。



今月の表紙

宮村医師、平島医師よりコメント

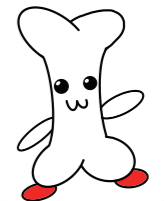
女性ならではの細やかな対応を心掛けております。異性には話しにくいカラダのお悩みなどお気軽にご相談ください。ご来院をお待ちしております。



(左)宮村 医師 (右)平島 医師

2 村瀬薬剤師、骨粗鬆症マネージャー認定試験に合格!

昨年11月、薬剤部の村瀬薬剤師が日本骨粗鬆症学会が実施する認定試験に合格し、「骨粗鬆症マネージャー」を取得しました。骨粗鬆症マネージャーとは、日本人の10人に1人が患者だと言われている“骨粗鬆症”の啓発・予防・再骨折の予防・円滑な治療を行うために、各専門職と連携して診療支援を行うコーディネーターの役割を担っています。当院の骨粗しょう症チームと連携を取りながら、1人でも多くの患者さんが骨折を起こさないで済むように活動していきますので、今後の取り組みにご期待ください。



骨粗鬆症チーム
マスコットキャラクター
ほねつよし

村瀬薬剤師よりコメント

骨粗鬆症は、健康な生活を脅かす恐ろしい病気です。しかし、実際にその予防と治療に取り組んでいる方は少ないです。自覚症状なく骨折している場合もあるため、まずは骨密度検査で骨の状態をチェックしてみませんか？骨粗鬆症の治療薬は内服、注射と様々ですが骨粗鬆症外来では患者さんに合わせた薬剤が選択されます。気軽にご相談ください。

